

## 中野区役所

24分前

中野区町会レポートNo.48  
自助と共助を深める「防災訓練」

こんにちは。町会ひよこです。

12月5日（日曜日）に、中野駅の南口に立地する賃貸住宅「コーシャハイム中野フロント」の自衛消防訓練をひよりとひよみ取材しました。この訓練は、中野駅前南口町会などの地元町会の協力を得て、住宅の管理会社であるJKK東京（東京都住宅供給公社）が主催したものです。

当日は、厳しい寒さの中にも関わらず、20名を超える入居者の方と地域のみなさんが参加。水を入れた消火器を使った訓練や、消防機関への模擬通報訓練を体験しました。

また、住宅敷地内にある防災設備、停電や断水時でも使用できる「マンホールトイレ」や、かまどとして使用できる「かまどベンチ」に触れることもできました。これらは、非常時に地域のために使用されます。

いつ発生するか分からない災害への備えを地域で共有できて、有意義な時間でした。

JKK東京の職員の方は、「幅広い世代の方々をつなげるきっかけとなった。今後も地域を巻き込んだ取り組みを行いたい」。中野駅前南口町会役員の方も、「新しく越してきた住民の方々が地域と関われるよう、積極的に発信していきたい」と話していました。

市街地再開発事業が進行中の中野二丁目地区では、まちの様子や住民の年齢構成が大きく変わりつつあります。改めて自助と共助の大切さを学ぶとともに、自分や自分のまちを守る力を高めるため、日頃から地域における関わり合いが重要であるということを痛感しました。

中野区町会連合会のホームページも併せてご覧ください。

<https://nakano-chokai.jp>

以上、町会ひよこでした。



シェアする